

# Smile Shimotsuma

第9号  
平成31年2月1日  
発行

## 下妻特別支援学校と下妻第二高等学校交流リーフレット



4月26日(木)と9月13日(木)に、  
下妻特別支援学校・下妻第二高等学校間のス  
ポーツ交流が行われました。

スポーツ交流ということで、最初はみんな  
緊張している様子でしたが、スポーツを通し  
て次第に笑顔が見られて楽しむことができ  
ました。最後は記念写真を撮りました。

### ポッチャ

ジャックボールという白い球  
に赤と青の球をそれぞれ6球ず  
つ投げて、どちらがジャックボ  
ールに近いかを競います。最後まで  
試合の流れが読めず、ワクワクす  
るスポーツです。

### 卓球バレー

障がいや年齢を問わず誰でも  
簡単に参加することができる競  
技です。ネットを挟み1チーム6  
人でイスに座り、ボールを転がし  
てネットの下を通して返します。  
とても熱くなるスポーツです！

### カーリングポッチャ

シートで緑色のゾーンが1点、  
黄色のゾーンが2点、赤色のゾ  
ーンが3点になっていて、ゾ  
ーンの中にポッチャボールを投げていく  
スポーツです。点数を高く取った  
チームが勝ちになります。



下妻二高生とポッチャをやって  
勝った時にハイタッチをしてく  
れてとても嬉しかったです。  
ポッチャが終わった後、話をし  
たり盛り上がりたりしてとても良  
い交流となりました。

下妻特別支援学校 小木 康渡

卓球バレーと一緒に交流しまし  
た。その交流を通して、協力す  
ることの大切さを学ぶことができ  
ました。次の交流の時には、も  
っと会話をして交流を深めたい  
と思いました。

下妻第二高等学校 會田 安澄

久しぶりの卓球バレーで、あらた  
めて楽しさを実感しました。誰で  
も熱くなれるスポーツで、とても  
楽しかったです。下特の皆さんと  
もっと話をしたいと思いました。

下妻第二高等学校 新谷 紗菜

一緒にポッチャをやれてすご  
く楽しかったです。

下妻特別支援学校 立川 琴葉

下妻二高生と競技ポッチャを  
通して交流してルールや戦略な  
どを話し合うことができました。  
また、ゲーム中の「いいよいい  
よ。」や「おいしい」などの掛け  
声をかけあってよりゲームが楽  
しくなりよかったです。

下妻特別支援学校 紺野 想礼



今回は卓球バレーをやりました。  
卓球バレーはチーム6人で対  
決するので、みんな力を合わせて  
楽しく活動できました。また一緒  
に卓球バレーをやりたいです。

下妻第二高等学校 張替 真奈





## ＜第1回ボランティア講座＞

6月2日、下特でボランティア講座が行われました。近隣の高校生が、下特の先生方からボランティアに関するレクチャーを受け、車椅子の押し方などの練習をしました。車椅子体験は初めての人も多かったので、思った通りに動かすことができず



に、あちこちぶついたりしてしまいました。押し始める前に必ず声かけをすることや、乗り降りにはブレーキを忘れないことなど、大切なことをたくさん学ぶことができました。

## ＜サマークラブ＞

8月4日、サマークラブが行われました。オープニングでは、石下紫峰高校の生徒さんが和太鼓の演奏をしてくれました。とても迫力がありました。その後、いろいろな体験コーナーに分かれて楽しみました。妻二の生徒は、各ブースの担当をして、体験のお手伝いをしました。ひも付きくじ引きや、ポッチャ体験など、とても楽しく過ごすことができました。



## ＜運動会＞ 10月13日、下妻特別支援学校第25回運動会が行われました。



私は今回下特の運動会に参加して、ボランティアのやりがいや楽しさを改めて感じることができました。私は準備係として今回参加しました。競技と競技の合間で準備をするのは大変でしたが、みんな楽しそうに競技を行っているのを見るととてもやりがいを感じました。

(妻二高1 寺田美紀)



テントの中で一緒に応援して盛り上げることができて良かったです。たくさん話をしたりタッチをしたりできてとても嬉しかったです。

(下特高3 館野那瑠美)

移動の際に車いすを押していただいたり、競技の準備や片付けをしていただいたり、ありがとうございました。(下特高3 小川拓海)

私は初めて下特の運動会に参加し、いろいろな体験をすることができました。以前のボランティア体験で車椅子の体験をしたことがあり、その経験を生かして、生徒さんの車椅子を押す前に声をかけてから押すということができました。これまで経験してきたことが役に立って良かったです。

(妻二高2 會田安澄)

## ☆☆☆オリンピック・パラリンピック教育推進事業☆☆☆

### 『やるか・やらないか』

10月24日、パラリンピックアルペンスキーに出場した三澤拓さんを下妻二高にお招きして、一年生対象に講演会を開きました。六歳の時に交通事故で左足を切断した三澤氏ですが、野球部でピッチャー、主将を務めたり、高校時代はスキーでニュージーランドに留学したりと、そのポジティブな生き方に一同感銘を受けました。生徒からは「できないからやらないというのではなく、やってみてから判断するという前向きな姿勢に感動した。」「今までパラリンピックはあまり見ていなかったけれど、次のパラリンピックは家族で見ようと思った。」「パラリンピックのボランティアをやってみたくなった。」などの感想が寄せられ、多くの生徒が三澤さんのお話に勇気をもらうことができました。この日、1BS茨城放送が取材にきました。講演会の様子は、ラジオで2度に渡り放送されました。



義足を外した三澤さん。この後ステージからジャンプで飛び降りた。